

平成21年平均 福井市消費者物価指数の動向

(平成17年基準)

総合指数 100.5
対前年比 (-)1.0%

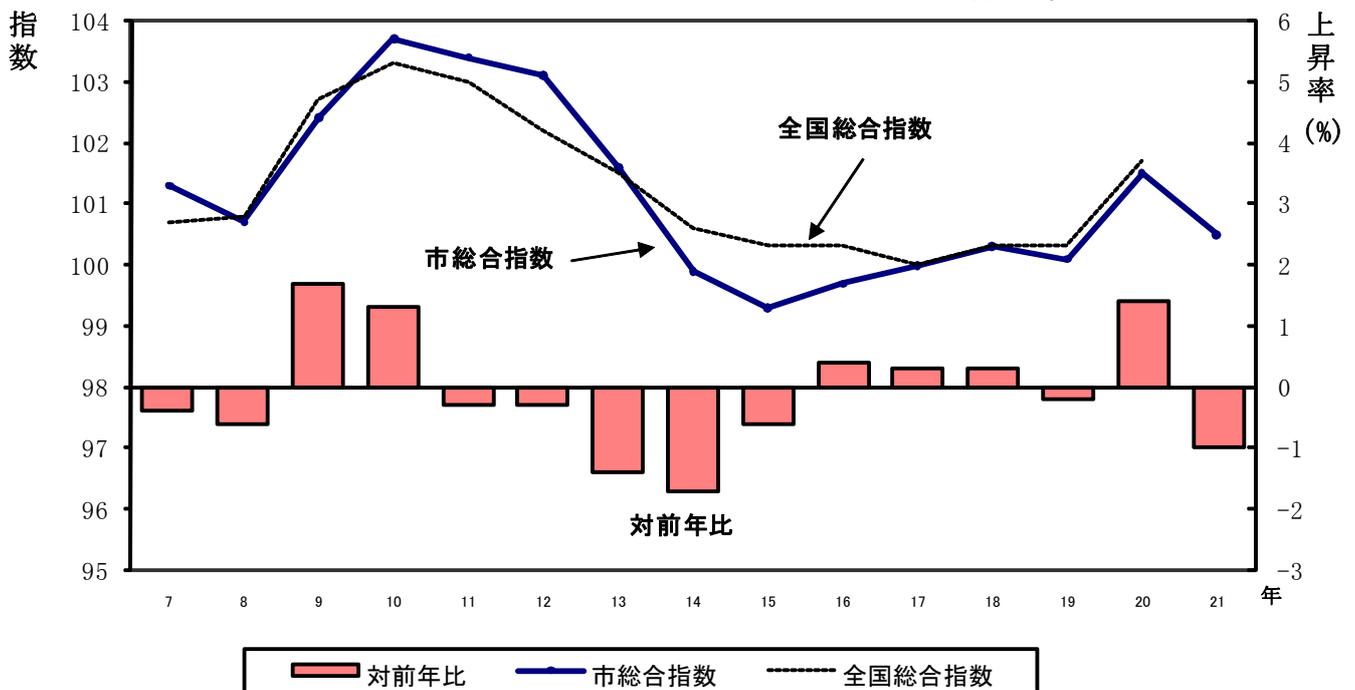
1 概況

平成21年平均福井市消費者物価指数の総合指数は、平成17年を100として100.5となり、前年に比べて1.0%下落した。

生鮮食品を除く総合指数は100.6となり、前年に比べて0.9%下落した。

福井市消費者物価指数(年平均・総合指数)の推移

平成17年=100

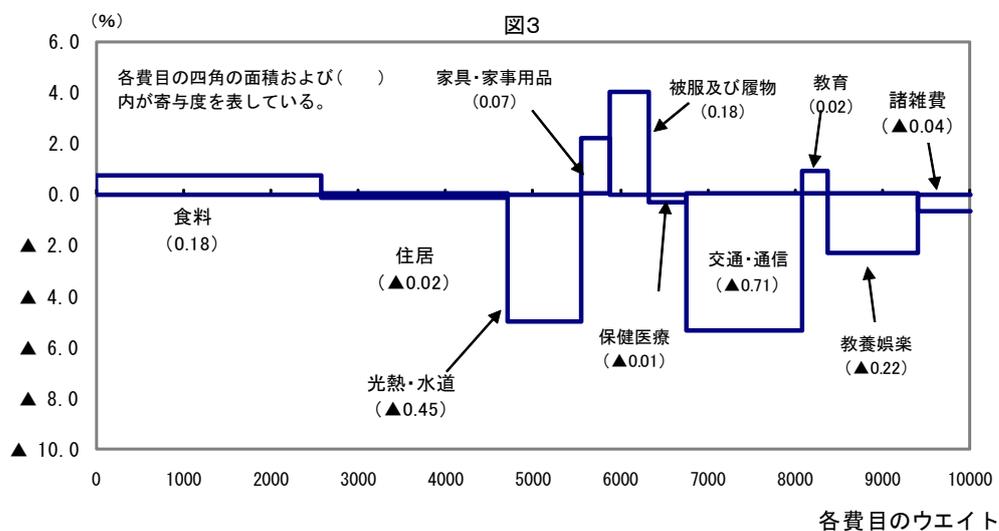


2 費目別指数の動き

- (1) 食料は105.6となり、前年に比べ0.7%の上昇
[主な内訳]
乳卵類 (＋) 5.0%
菓子類 (＋) 3.8%
- (2) 住居は97.4となり、前年に比べ0.1%の下落
[主な内訳]
設備修繕維持 (＋) 1.8%
持家帰属家賃を除く家賃 (－) 0.9%
- (3) 光熱・水道は103.5となり、前年に比べ5.0%の下落
[主な内訳]
他の光熱 (－) 33.4%
ガス代 (－) 2.7%
- (4) 家具・家事用品は95.9となり、前年に比べ2.2%の上昇
[主な内訳]
家庭用耐久財 (＋) 4.9%
家事用消耗品 (＋) 2.2%
- (5) 被服及び履物は110.2となり、前年に比べ4.0%の上昇
[主な内訳]
シャツ・セーター類 (＋) 11.7%
洋服 (＋) 2.9%
- (6) 保健医療は99.7となり、前年に比べ0.3%の下落
[主な内訳]
保健医療用品・器具 (－) 7.1%
- (7) 交通通信は97.3となり、前年に比べ5.3%の下落
[主な内訳]
自動車等関係費 (－) 8.3%
- (8) 教育は103.5となり、前年に比べ0.9%の上昇
[主な内訳]
教科書・学習参考教材 (＋) 9.5%
- (9) 教養娯楽は92.7となり、前年に比べ2.3%の下落
[主な内訳]
教養娯楽用耐久財 (－) 18.1%
- (10) 諸雑費は100.6となり、前年に比べ0.7%の下落
[主な内訳]
身の回り用品 (－) 2.3%

3 前年比との比較

総合指数の前年比が1.0%の下落となった内訳を寄与度でみると、交通・通信、光熱・水道の下落が大きな要因となっている。(図3)



[寄与度の高い費目]

費目	主な内訳(寄与度)
交通・通信	自動車等関連費(▲0.67)
光熱・水道	他の光熱(▲0.37)
教養娯楽	教養娯楽用耐久財(▲0.11)
食料	菓子類(0.08)